

# めだかの学校だより

平成 23 年 11 月 1 日  
第 74 号  
学舎：東久留女木新田観音山  
「みどりの郷キャンプ場」内  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL0539-62-6691

## 校長訓話

第七十四回 校長 今村 純子

昭和初期生まれの高齢者たちは、戦中戦後を体験してきた貴重な人達。「今更、わし等が何を云っても古いと云われて聞いてくれる人はいない。」と悲しい顔をする。

しかし、この方達の生き様は、そのもつと昔の方々とは一寸ちがう真に世の中の激動の中をくぐって来たからこそ今の私達の暮らしがあることを、常に感じさせられている。私はその中間の年代で、子供の頃終戦となり国民総ぐるみ食糧難で何も無い時代の貧困生活を体験している。

昭和三十二年より、農水省関係の「生活改良善及員」として、農家の暮らしの実態を見聞してきたので「今更聞いてもらえない。」という方々の代弁をしたい。

その頃の子供たちへ（皆様の祖父母）は、まだ電気も水道もない家が多く、

ランプの掃除をしたとか、学校に行きたくても、行けなくて奉公や働きに出たという人々が多数いる。農作業や家事に使う道具もほとんど藁や竹、木製等の手作り品だった。

そして、この方々のがんびりで高度経済成長時代となって、無駄無理のない快適な暮らしを目指して生産、生活技術の向上にどれほど活躍してきたとか。一般的な生活面だけでもタイムスリップすると三十年代以前の衣生活は、まだ蚕を飼い、綿を栽培し、換金と同時に自分達の着るものや寝具も手縫いしたり編んだりするのは当たり前。結婚仕度も自分で縫っていたのに、化学繊維が出現しはじめると、急激に企業化してしまった。食生活もほとんど自給であったものがインスタント食品、既成食品と新しいものが回り、しゃれた食材と錯覚されて購入食品が多くなり、昔からの手作り農産加工品も減少してしまった。住生活は当時の嫁は家族より早く起きて不便な力マドで炊事し、家族と一緒に農作業に出て、夜は夜なべをしながら家

族一人一人の風呂加減に気を使い、自分分は終い湯の膝下位の湯につかる（水道じゃないから大変なんだよ）。三十年後半になると夢のような電気釜が出現し、三種神器と云われた（テレビ・洗濯機・冷蔵庫）から次々と便利な器具器材の導入により暮らしは一変した。四十年代は経営記録、家計帳、時間の管理の必要性を強調し、ゆとりある落ち着いた暮らしの見直し、農産加工の必要性が復活、新鮮な農産物の朝市、無人市の推進がはじまり、平成になる頃、女性の地位向上、経営の参画が当たり前となってきた。

一口に戦前の女性は、サ（裁縫）シ（仕事）ス（炊事）セ（洗濯）ソ（掃除）がしっかりと出来れば良い嫁。四十年代頃はカ（考える）キ（記帳）ク（工夫）ケ（計画）コ（行動）することは主婦の役割。平成になってア（アイデア）イ（インテリ）ウ（ウィット）エ（エレガンス）オ（オリジナル）の女性像は理想のように云われるようになった。『じいじ、ばあばの過去を思いやって!!ネ』



## めだかの学校伝言板

——第74回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／今村純子

教頭／藤田潤吉

用務員／石野省三

給食係／川島安一・本間稔・榊原淑友・伊藤宣勝

水村春江・藤田久枝・藤田潤吉・野嶋一男

山崎敏明・鈴木正士・大谷香代子

渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎>静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山

みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成 23 年 12 月 2 日（金）6：20 PMより  
受付／寺田幸宏・星野直樹・大場敬子・斉藤昭（後見人）

<時間割> 今回のテーマ

「子育てから IT まで」

● 1 時間目 家庭科 牧野久子先生

「子育て じいじ ばあば の役割」

● 2 時間目 社会科 溝口久先生

「おとなりさんからポトランドまで」

● 3 時間目 理科 村田徳治先生

「アナログから IT まで」

● 給食の時間～冬の味覚 とろろごはんとかサケ～  
10：15 閉校

# めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

## ■第9回全国まちづくり交流会 in信州・木曾開田高原

9月9日から11日の3日間、全国まちづくり交流会が約2000人の参加者を集めて、標高1,100mの開田高原で開催された。この地は「木曾馬」と「そばのふるさと」であり、「日本で最も美しい村」にも選定され、御嶽山の勇姿や豊かな自然、美しい景観が魅力だ。

そこへ、松本芳廣メダカ、石野省三メダカ、上嶋裕志メダカ、村松達雄メダカ、尾上美智子メダカ、溝口久メダカらが参上した。9日の前夜祭（歓迎交流会）を皮切りに、10日は県宝山下家住宅、木曾馬の里を案内いただいた。フォーラムは溝口メダカの友人でもある宮城県丸森町の渡辺政巳前町長が地震被災地の現状報告「三陸沿岸消えた町村」があり、基調講演は信州大学の加藤光一教授が、「『市場』モデルから「むら」モデルへの転換が地域を再生する」という題で、農山村地域再生としての直売所・農産加工所のお話をされた。パネルディスカッションでは、雑穀料理「野のもの」を経営する吉田由紀子さん、「みたけグルメリ工房」組合長の西尾礼子さん、地元産の牛乳から乳製品を作り出す開田高原アイスクリームの松井淳一さんが壇上に立った。お待ちかねの夜の交流会は「やまゆり荘」で、地元の方々の自慢の手料理でもてなしてくれた。飲みが進むにつれ、与論島にもサロマ湖にも行く約束をした。お楽しみはまだまだ続く。後日、交流会で知合いになった地元開田高原の古橋さんからそば粉ととうもろこしが届いた。早

速、開田高原蕎麦会と銘打っての拙宅で開いた蕎麦会には多くの方々にお越し頂き、香り高く甘みのあるそばを堪能していただいた。来年のまちづくり交流会は宮城県大崎市鳴子町での開催が決まった。その後は本県森町での開催が控えている。どうかメダカの皆様お力貸してくださいませ。  
(溝口久メダカ)

## ■ちっちゃな文化展、ありがとうございました

先日10月21日（金）、23日（日）、遠州横須賀街道・ちっちゃな文化展に大勢の「メダカ」皆さんにご来横いただき、本当にありがとうございました。おかげさまで今年も大盛況のうちに無事3日間を終えることができました。作家さんとして出店いただいている鈴木真弓メダカ、耳塚メダカ、蕎麦茶屋の主人として蕎麦屋より忙しかつた松本芳廣メダカ、お手伝いに来てくれたメダカ生徒&元メダカの皆さん、「町を歩けばメダカに当たる」バラメダカはじめ、本当に大勢の方々にお会いすることができました。他にも何年ぶりかで偶然に出会った同級生、懐かしい仲間、また新たな出会いなどなど文化展は人と人の出合いの場でもあるんですね。ちっちゃな文化展の原点は「固有名詞が呼び合える」ほんの小さなつながりが基本、イベントとしてのクオリティーはもちろんのこと、あの町へ行ってみたい、あの人に会ってみたい、そんなイベントであり続けたいと思っています。ちっちゃな文化展の主役はスタッフや作家さんだけでなく、町の人やお客様を含めた、すべての皆さんが主役なんです。気の早い話ですがまた来年、横須賀の町で皆さんとお会いできることを楽しみに！  
(鈴木武史メダカ)

## ■「げんきまじわり処」サロンなこみ」主催「出合いの小径」

十一月三日、恒例の「二天竜産業観光まつり」に合わせ「げんきまじわり処」サロンなこみ」として、初めて「出合いの小径」を実施した。二侯のにぎわい創出を目指して懐かしさが残るかつての西町銀座周辺において、個人の家や軒先、駐車場、空き地などを利用して計三十八ヶ所に六十余の団体（美術展、趣味作品や地場産品の販売、占い、バルーンアート等）が出店、パライティに富んだ会場となった。

当日は天候にも恵まれ、普段は閑散とした路地裏に人の流れが出来、地元住民は大喜び！後援してくれた市、観光協会、商工会その他からも今後の継続を期待するとの言葉をいただいた。

今回の「第一歩」には多くのメダカの仲間たちの温かなあり言葉に尽くせぬ感謝の思いで一杯です。（本島真弓メダカ）

## ■次郎柿いっばいの季節に『豊岡東公民館まつり』

豊岡市敷地の、豊岡東公民館では、11月20日（日）午前9時30分から午後2時30分まで『第4回豊岡東公民館まつり』を開きます。合言葉は『みんなで楽しく』。体育館での演芸部門では、中学生による大太鼓演奏に始まり、お笑い劇場、よさこいそららん、大正琴、フラックシアター、楽団演奏、公民館や各団体の活動パネル展示。本館では陶芸や小細工、写真など多くの展示物。食では、鈴木正士メダカの手打ちソバ「正土庵」。渡辺ミツ子メダカチーフのえび芋カレーの「めだか亭」。コーヒーカーフェは榊原幸雄メダカの『リンデンパウム』。野外広場では深澤明男メダカから農業者の「おもちつき」。伊藤英雄メダカの「焼き芋屋」。メダカ以外の地域の皆さんが展

示やお店やらで盛り上げをしてきてくれる。『予算0・小銭持参で、笑って笑って善玉菌増やそ！』。お客さんで来たつもりがいつの間にかお手伝いに！ですヨ。ちなみに実行委員長は田村進治メダカ（自治会豊岡地区支部長）。多くのメダカ生もお手伝いに、待っています。問い合わせは、0539・62・6669又はめだか事務局へ。

## ■第23回いなさ人形劇まつり

浜松市北区引佐町で、11月19日（土）、20日（日）の2日間、『いなさ人形劇まつり』が開かれる。

今年には浜松市政100周年記念、京都市の人形劇団京芸、名古屋市の人形劇団むすび座、岡山県の糸あやつり人形劇団みのむしなど、プロ16劇団、地元の小学校井の国劇団ラディッシュ、劇団あすなろなど11のアマチュア劇団などが参加。おもしろい人形劇がいっぱいです。まさに人形劇のお祭りです。鈴木計芳メダカや永田清元メダカらと会えるかも。問い合わせは、053・542・1111引佐地域自治センター地域振興課へ。※立ち上げには言い出しつぺの故伊藤茂男メダカ、故平山豊メダカ、榊原幸雄メダカが関わっていました。

## ■第13回遠州森町発町並みと蔵展

恒例となった、町並みと蔵展区ラテンが11月25日（土）26日（日）の両日、榊原淑友、村松達雄メダカらが中心となって森町で開催されます。今回のテーマは「近代農業の先駆者 中村和郎」と題して講演会が26日の午前10時から西光寺にて開催される。中村和郎は報徳の教えに従い帝國農家一致協会を設立、農業研究雑誌「農談」を森町から発行日本で最大の2万2千人の会員を擁し、17万部を発行し、農業の近代化に大きく貢献した。その後、事務所

が東京に移転するのを契機に、鈴木藤三郎・福川泉吾らによって私立周智農林学校が設立され、森町が全国の農業先進地として現在に引き継がれているとのこと。興味のある方は是非出掛けてみて下さい。

### ■鈴木真弓マクラメ展■

円熟の域に達しつつある(?) 浜松市の鈴木真弓メダカ。11月10日(木)〜21日(月)まで、浜松市中区宮塚町、佐鳴湖パークタウンサクス2Fのギャラリー喫茶「潮風」で「鈴木真弓マクラメ展」。15・16日休業。10・19・21日は午後3時から村上恵三子さんのピアノ演奏もある。問い合わせは、053・435・7021へ。

### ■CD制作しました、聞いて！

浜松市の西川裕子メダカ。11月3日に天竜区二俣で開かれた「二俣まつり」共催の『出会ひの小径』(本島真弓メダカ主催)に合わせて「北遠旅情」「二俣出会ひ音頭」の2曲(カラオケ入り)のCDを制作。作詞はしみず共造、作曲・歌は嬉野遊宇(西川裕子)。北遠の応援歌だつて。CD聞いてやってみてね。CDなどの問い合わせは、053・545・3813へ。

### ■開校日を前に学舎をキレイに！

11月26日(土)午前9時から学舎の清掃をします。浜松市を直撃した台風の影響がどれほどあるかわかりませんが、「協力をよろしく願います。草刈り、枝打ち、調理場とトイレの清掃。清しく開校するために手を貸して下さい。お弁当持参で。

### 「人・ひと・ヒト」だより

●浜松市の池田誠二郎メダカ。豊岡東公民館で「子育て応援講座」を2回開講。「児

童虐待が多いのは、家庭での団らんが少なくなったのが原因」と。「ふん、なるほど、それで」。子供の声を聞く、ほめる、抱きしめる等。スキンシップの大切さを2時間、2回にわたってユーモアを交えて語る。

### ●浜松市雄踏町の藤田潤吉・久枝メダカ

11月4日〜9日までドイツへ。ドイツでの「ジャパンデー」でチンドン公演。八木正子元メダカも加わってチンドンチンドンチンドン。ドイツの人たちを笑わせる。新聞・テレビと事前報道も賑やかに。テレビと言えば磐田市の「とれたて元気村『味里』」の金原志郎メダカ。『えび芋料理』で新聞・テレビ、NHKでは全国報道にまで取り上げられて、超多忙で嬉しい悲鳴。豊岡東公民館でも『男の料理教室』で指導。煮物とコロケとテンブラと。香辛料の使い方まで伝授。田村進治メダカと村田徳治メダカ、バフメダカも参加して。タイトル「おっい母さんこんだよ」と言えるかなア。

### ●岐阜県加茂郡の「そばの里深草ふんど」

の長谷川政夫メダカ。『新そばから真そばへ、江戸そばから真日本そばへ、日本古来のそばの味をもっともつと良くし、日本を、否世界を健康にしていこうと考えている』だつて。まさに自称そばは迷人意気盛ん。

### ●そばと言えば磐田市の鈴木正士メダカ

のそば畑。今は刈り取りの時期。そのうち新そばを正土産で食べられるね。

### ●島田市の黄瀬川はつ枝メダカ。農家に嫁いでウン拾年。今は千両の実も赤いよいよ出荷の最盛期へ。好きなフラワーアレンジメントも大正琴の施設慰問もお休みだね。

●袋井市の村松孝司メダカ。静岡県の環境学習指導員。磐田市豊岡東小の4・5年生に敷地川の水質検査の指導。水を得た魚のような子供たちにふり回されてかお疲れ気味。病み上がりではムリないか。身体は

大事にしてヨ。「年だなあー」は禁句禁句。●浜松市引佐町の鈴木一記メダカ。「久留女木の棚田の美味しいおコメが取れた。12月のめだかの学校で使つて」だつて。『5kgぐらいいお願ひ』と渡辺ミツ子給食チーフ。エツ、ジャンケンで今年もおコメプレゼントしてくれるの?。嬉しい!

### ●浜松市春野町の尾上美智子メダカ

11月5日(土)信濃畑「秋のコンサート」。縄巻修巳さんの現代尺八の演奏。春野の信濃畑は紅葉も彩りを添えて、まさに潤いの里。

### ●東京都中野区のかまちよろうメダカ

郷土の磐田市豊岡地区「みんなの文化展」で似顔絵書き。緊張気味のお客さんを前にスラスラと。静岡新聞朝刊の四コママンガ「ゴンちゃん」でお茶の間に「あたたかさ」を提供中。

### ●浜松市の野村徳子元メダカ

10月に北なゆた、にぎわい広場で『徳子人形教室展』。石野省三メダカが作った風を持った少年の人形の展示も。掛川市横須賀の「ちっちゃな文化展」ではばったり。「ちっちゃな文化展」に出展中の佐久間町、耳塚信博メダカとは同級生。

### ●周智郡森町の鈴木裕子メダカ

10月に御殿場市のギャラリーで久し振りの『格子鉄の作品展』。(格子IIケイコ)。御殿場には何度かの作品展で知人も増えたつて。「浜松でもやったら」と言ったら笑つた。

### ●掛川市横須賀の島山剛メダカ

「ちっちゃな文化展」のパンフレットの表紙は我が家」と嬉しそう。浜松市引佐町でんごー洪川の「NPO洪川大好き」の大使でもある。「第23回いなさ人形劇まつり」のパンフレットを配つてる。

### ●森町の田邊哲メダカ

磐田市の南御厨公民館で『貧乏神講座』。「今までで一番面白い講座だつた。榎原さん、凄いい人知ってる

ね」と絹村館長。ちよつと鼻ビクでした。

### 「新人紹介」

●島田市の塚本佳男メダカ。自営自製の茶業專業農家。池谷俊裕メダカの紹介。9月の73回のメダカの学校では、島田の女性陣の中、男一匹頑張つて登校。

今回はいこれまで。お便りください。

### ■めだかの学校20周年に寄せての企画■

メダカの学校は、来年9月で20周年になります。20周年に絡めて3つの事業を計画しています。

①めだかの学校特別公開授業「めだかの学校新春フォーラム」地域づくり 仲間づくり絆づくり(仮称)。日時 平成24年2月19日(日) 午前10時〜午後5時まで。会場・磐田市立豊岡東公民館。昼食兼交流会は、手打ちそばと、えび芋カレーと本格コーヒーなど。詳細は実行委員会を組織して詰めていきます。実行委員長は榎原淑友メダカ。

②めだかの学校20周年企画。『めだかの学校大学院』(仮称)。日程・25年1月12日(土)13日(日)の予定。会場は、浜松市北区引佐町奥山 方広寺。一泊二日。実行委員長は、1回生の石野省三メダカ。

③めだかの学校共同企画、『第11回全国まちづくり交流会 in 遠州森町』(仮称)。日程は25年6月ごろ。会場は小国神社およびその周辺宿泊施設など。実行委員長は村松達雄メダカ。

3件とも内容などすべて予定です。それぞれ実行委員会を組織して詰めていくこととなります。

# トピックス

■おもしろ人立「めだかの学校だより」1号から73号まで全て揃いました。

めだかの学校の足跡となる記録『めだかの学校便り』。欠落していた号数が牧野久子メダカと伊藤英雄メダカの協力で、特別号を含んだ1号から73号まで全て揃いました。

積み重ねた19年の内容の凄さに、鳥肌が立ってしまいました。

A3で4頁建て。A4版の記念誌をつくらせたら、400頁以上？、いくらかかる？。公民館に伊藤英雄メダカと村田徳治メダカも加わって。改めて実行委員会を検討しようと言ったこと。まさに貴重な宝もの。ぜひみなさんに見て欲しいものです。(事務局バラメダカ)

## めだかの学校だより



めだかの学校だより 第73号  
発行所：めだかの学校事務局  
〒438-0105 静岡県磐田市家田5-29番地20  
TEL 0539-626691 (FAX 同)

## めだかの学校開校式 新聞に載る



第2回めだかの学校は  
12月3日(金)午後6時30分～  
開催場所：めだかの学校事務局  
〒438-0105 静岡県磐田市家田5-29番地20  
TEL 0539-626691 (FAX 同)

### ■事務局だより

家の周りの柿畑は色づき、今は出荷の最盛期です。遠州地方の祭りも、11月4日～6日の「遠州森まつり」で終わりました。11月8日は立秋。いよいよ季節は冬支度に入ります。

さて第73回めだかの学校は、23年9月2日。「台風浜松上陸の可能性」の予報。断続的に強い雨と風。台風が上陸したらどうしよう、やるか、やめるか不安のところ

がみんなの心情。台風が西にそれそうだと「やる！」と判断。問合わせの電話も多い。第1回の時と同じ状況。台風の余波で山は大荒れ。なのにこの雨と風の中、45人の生徒が登校。まさに「い・い・加・減」なめだか生。感動的でもあった。

校長鈴木正士、教頭水村春江、用務員森茂光。期初第1回目の授業は毎年度特別授業。今回も全員参加型の討論会。テーマは「地域づくりとは、仲間づくりとは、絆とは」。司会水村春江、進行鈴木正士、鐘は森茂光。発言者は鈴木武史、池谷俊裕、榊原淑友。3者5分づつ。鈴木武史メダカはちっちゃな文化展など地域の活動の活動を。池谷俊裕メダカは仕事の関係で欠席。代役は若本伴江メダカ。島田初倉の仲間たちとの活動を語る。榊原淑友メダカは、森町の街並み蔵屋や古い街並みを照らす「森ほたる」などを語る。発言者を会場に移して、天竜の本島真司メダカ、「ハイイ」と手を上げて、「出会いの小径」など自らの思いと夢を語る。その後司会者の指名で川島安一、松本芳廣、藤田潤吉、今村純子、牧野久子メダカから数人の生徒が話す。「地域活動は多くの人との出会いと協力が大切」と校長訓話。(※詳細は73号めだかの便り参照)つづきは給食時間で。お待ち兼ねの給食は、刺身でも食べられるほどの新鮮なサンマ。火が通りすぎて(?)真っ

黒サンマ。武史メダカのおじゃがさんなど今回も美味しいお給食。私語飲食全て禁止の次回3役発表。校長今村純子、教頭藤田潤吉、用務員石野省三、ペテランを揃える。給食当番は「男の料理教室」の如く男性陣が多い。雨と風はおさまったが、危険なことも考えて早めに閉校した。無事帰宅を祈って。

第74回めだかの学校の職員会議を、10月6日(木)、とれたて元氣村「味里」で、校長今村純子、教頭藤田潤吉、用務員石野省三、3役揃い踏みで開く。始めの話題はなんとと言っても浜松上陸の台風の話。あちこちの被害の状況が伝わる。学舎は？心配になる。今村校長のあと、9月9日～11日に岐阜県開田町で開かれた第9回全国まちづくり交流会の内容を参加した村松達雄メダカが報告。「日本で一番美しい町の呼び名もある御嶽山のふもと、のどかな牧歌的風景、町の戸数の60%にあたる600戸が別荘。そのうち永住は10組。次回の来年は宮城県鳴子温泉。第十一回は遠州森町で。つづいて主題の第74回めだかの学校のテーマと授業の検討に入る。

あちこちのテーマと授業の検討に入る。テーマは「子育てからITまで」。授業は家庭科「子育て、じいばあばの役割」牧野久子先生。社会科「おとなりさんからポートランドまで」溝口久先生。理科「アナログからITまで」村田徳治先生で決まる。事務局から「20周年のプレイベントで豊岡東公民館と共催で、一般公開の特別授業「地域づくり、絆づくり」のシンポジウムかフォーラムを2月19日(日)にやろう！」の提言があり、やる方向で決まる。

午前10時～午後4時半ごろまで、昼食を兼ねた交流会は手打ちそばとえび辛カレーと本格コーヒート、実行委員会を組織して決めていく。20周年記念「大学院」仮

称)は、25年1月中旬ごろ、浜松市引佐町奥山の方広寺で。実行委員長は1回生の石野省三メダカ。給食は冬の味覚とろろ汁と北海道産の鮭、こはんは久留女木の榊田米にしよう、と渡辺三ツ子チーフ。いやはや74回も賑やかになりそうです。

■毎回遅れ気味の便りのお詫びとお礼を！

「今回こそ！」と心しても又々同じ。ごめん。伊藤英雄さん、鈴木武史さん、本島慎一郎さん、溝口久さんありがとう。まとめ役の間瀬亮太さんお世話をかけます。発送やら何やらお世話様の明美さん感謝！

■第19期の受け付けを始めています

第19期は23年9月1日から24年8月31日までです。まだ継続手続きがなされていない生徒は至急手続きを！今回をもって自主退学となります。ご承知下さい。再度申込書を同封しますが、これで終わりです。入校希望の生徒がいましたらご連絡ください。資料と申込書をお送りします。

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行日は平成24年2月1日、原稿の締切りは1月20日です。あなたの活動予定やイベント、活動実践など送ってください。郵便かFAXで。メールの方は、[mabuchi-td@vr.tnc.ne.jp](mailto:mabuchi-td@vr.tnc.ne.jp) 間瀬亮太090-5009-0986です。(メールの方は割付の関係もあるので二報を。)

■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田5-29番地20 榊原幸雄方 TEL 0539-626691 (FAX 同)

※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡は事務局まで。携帯080-1612-9130



『めだか新春フォーラム』企画案概略

H23. 12. 2 現在

めだか新春フォーラム実行委員会

委員長 柳原 淑友

タイトル

めだか新春フォーラム

「みんなの語り」仲間づくり、絆づくり

趣旨 「地域づくりは、あきらめを言わずに永続的である」と言いつつ「まちづくり仲間づくり、絆づくり」に力をつけてみんなの語り合おう。3月11日の東日本大震災のあゆみ、人々の関わり合いの重要性が問われている。一緒に考えよう。

日時 24年2月19日(日) 午前10時～午後4時 + お別れ会30分(最終4時30分)

会場 舞田市立豊畑東公民館

会費 1,000円(昼食・交流会費他)

定員 150人(先着順)

※前夜交流会 & 宿泊(宿泊希望者)

日時 2月18日(土) 午後6時30分～(宿泊者向けは午後4時～)

会場 豊畑荘 (舞田市芝罘地～豊畑研修センター横)

会費 3,000円(宿泊の方は、一泊朝食付きプラス4,000円)

＜プログラム＞

・2月19日(日) 午前10時～午後4時 + お別れ会30分

10:00～ 第一部 1 舞畑花蝶ちゃんにおまじないの歌

開会セレモニー 参加者紹介

10:30 基調講演 「小布花のまちづくりについて」 副題? 金出せ 汗出せ 知恵出せ。

講師: アラ・小布施 関 悦子

12:00 昼食 & 交流会

「手打ちそば」& 「お茶会」& 「本格コーヒー」ほか? ※申し込み 大歓迎!!

14:00～ 第二部～<パネルディスカッション>

・「まちづくり」

